

3月8日(金)17:00 スタジオ CRT で収録

2024年3月6日(水)栃木県立高校入試問題の傾向と対策

開倫塾

塾長 林 明夫

本日の開倫塾の時間は、「2024年3月6日(水)県立高校入試問題の傾向と対策」についてお話をいたします。

この「2024年3月6日(水)県立高校入試問題の傾向と対策」は、開倫塾教務本部長で栃木県立高校の入試に精通した岡部正行先生の分析を元にお話させていただきます。

1. 【数学】

(1)最終問題は

- ①公立中高一貫校や大学入試と同じ傾向の出題
- ②修学旅行に行き、新幹線に乗ったときに一列5人だが、全部で何列必要か
- ③京都に着いてから TAXI が何台必要か
- ④など考えさせる問題が多かった

(2)対策

- ①基礎力を固めるために「公式」を覚えたり、計算練習をすることは、今まで通り大切
- ②これに加えて、普段から長めの文章問題を解く練習を
- ③下野模試の過去問を繰り返しやってみること

2. 【理科】

(1)①大きく傾向は変わらないものの

- ②実験や観察
- ③「考察」「仮説」「検証」「読み取り」
- ④「電流」の分野問題で、電流「回路の配線図」を読み取る問題も
- ⑤「火山灰」がどのように降り積もるのか
*富士山や火山の「噴火」を予想しての出題と思われる
- ⑥「記述」問題が多い

(2)対策

- ①「グラフ」や「図表」を「読み解く」
<記述問題>対策としては>
- ②学校の教科書をスミからスミまでよく読み込む
- ③語句の意味をよく理解し、使えるようにする
- ③理科こそ「表現力」が大事

- ・大切な語句とその意味は「ノート」に書きためる⇒「ため込むこと」
特に「得点分野」の「重要語句」は「ノート」に「書きためる」「ため込むこと」

3. 【国語】

- (1) 「漢字」の「読み」「書き」の配点が 100 点満点中 20 点。漢字は大切。漢検 3 級に早目に合格すること
- (2) 作文は、20 点の配点が 12 点になった。ただし、おろそかにしない

4. 【社会】

- (1) 「地形図」から「等高線」を用いて断面を読み取る問題が出た。等高線の間隔(幅)がせまければ地形は傾斜が急、広ければ傾斜はゆるやか
- (2) 「地理」を学ぶ中 1 の教科書の最初はに出てくる地理で、一番大切な地図帳の読み方の問題。これは高校地理総合でも同じ、教科書の一番初めに出てくるこれが県立高校の問題も出題

5. 【英語】

- (1) リスニングも本格的な問題でした
- (2) 文章問題も文法よりは長文を読み解く「文章読解力」が英語でも合否を決める
- (3) この指示語は何を指すのか。文章を全部読まなければ解けない出題

6. 【最後に】

- (1) 全教科とも「大学共通テスト」や「私立中学入試」「公立中高一貫校入試」と同様、公式をあてはめ、問題練習を繰り返せば解けるような「詰め込み型知識」を問う問題ではなく
- (2) 問題資料、問題文の本文を読み込み、よく理解し、そのうえで正解を導く問題(いわゆる PISA 型問題)が大半でした
- (3) 辞書や新聞・読書に親しみ、思考力・表現力を普段から育てる勉強が栃木県立高校入試たいさくとしても大切です